



平成25年 4月 4日

お知らせ

同時提供：鳥取県政記者会・倉吉記者クラブ・米子市政記者クラブ

雪害対策の取り組み及びドライバー等のご協力により、雪害による交通支障は0(ゼロ)でした。

～H24年度の雪害対策の取り組み(まとめ)～

倉吉河川国道事務所が取り組んできた雪害対策について、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

倉吉河川国道事務所管内では、雪害訓練や冬用タイヤ・タイヤチェーン装着の啓発、立ち往生車両の防止対策などの雪害対策に取り組みました。

この結果、雪害による全面通行止めなどの交通支障は0(ゼロ)でした。

今回の結果と平成22年冬の雪害を教訓に、来シーズンも引き続き対策を実施します。

【要旨】

◆スタック車両等の状況

①スタック車両は、0台。 ※スタック：雪などにはまって、自動車が立ち往生すること

◆平成24年度に強化した主な取り組み

①冬用タイヤ・タイヤチェーン装着の啓発活動

雪みちマップを作成し中国、近畿、四国、九州の各トラック協会等へ配布、街頭配布

チェーン装着方法の指導、冬用タイヤ装着調査 ⇒ 早期の冬用タイヤ装着率は向上

②雪害訓練の実施

現場に即した情報伝達訓練・通行止め措置の模擬訓練 ⇒ 関係機関・警察との連携強化

◆平成24年度の新たな取り組み

①CCTVカメラの増設 ⇒ 9台増設により監視区間が9%向上

②除雪機械の増強 ⇒ 除雪トラック1台増強し重点箇所に配備

③立ち往生車両の対策 ⇒ 標識や携帯型情報板(試行)の設置による注意喚起

⇒ スタック車両はなし

◆雪害対策の検証結果

平成24年度は、雪害による全面通行止めは0(ゼロ)、また防災体制中(大雪注意報発表中)は、交通事故や故障車による交通規制等も発生しませんでした。

◆今後の検討

「豪雪時の対応五箇条」により、スタック箇所の対策など引き続き対策を実施していきます。

問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

TEL (0858) 26-6221 (代表)

副所長(道路)

神宮 祥司(じんぐう しょうじ)

【担当】道路管理課長

松元 洋之(まつもと ひろゆき)

倉吉国道事務所ホームページアドレス<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi>



国土交通省 中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

H24年度の雪害対策の取り組み (まとめ)

H25. 4. 4

H24年度冬の雪害対策の取り組み（まとめ）

1. 平成24年度の気象状況及び体制

- ①平成24年度の降雪量は、湯梨浜町泊では、平成18年度に続く少ない降雪となりました。… p2
大雪注意報8回、(大雪警報0回)により、8回防災体制をとりました。… p3

2. 雪害(交通支障)の状況

- ①スタック(雪などにはまって、自動車が立ち往生すること)車両の発生
1)スタック車両は、0(ゼロ)でした。
2)除雪は3日、凍結防止剤散布は43日実施しました。

3. 平成24年度の雪害対策の取り組み … p4

- ①平成23年度までの雪害を踏まえて強化した取り組み … p5
1)冬用タイヤ・タイヤチェーンの装着の啓発活動等
雪みちマップを作成し、中国、近畿、四国、九州の各トラック協会等へ配布や街頭で配布
タイヤチェーン装着方法の指導、冬用タイヤ装着調査 ⇒早期の冬用タイヤ装着率の向上 … p6
2)雪害訓練の実施 →現場に即した情報伝達訓練や通行止め措置の模擬訓練を実施
②平成24年度の新たな取り組み
1)CCTVカメラの増設 ⇒9台の増設により監視区間が9%向上
2)立ち往生車両の対策 ⇒標識設置や携帯型情報板の設置(試行)により注意喚起 … p7
⇒スタック車両の発生なし
3)除雪機械の増強 ⇒除雪トラック1台を増強し重点箇所に配備

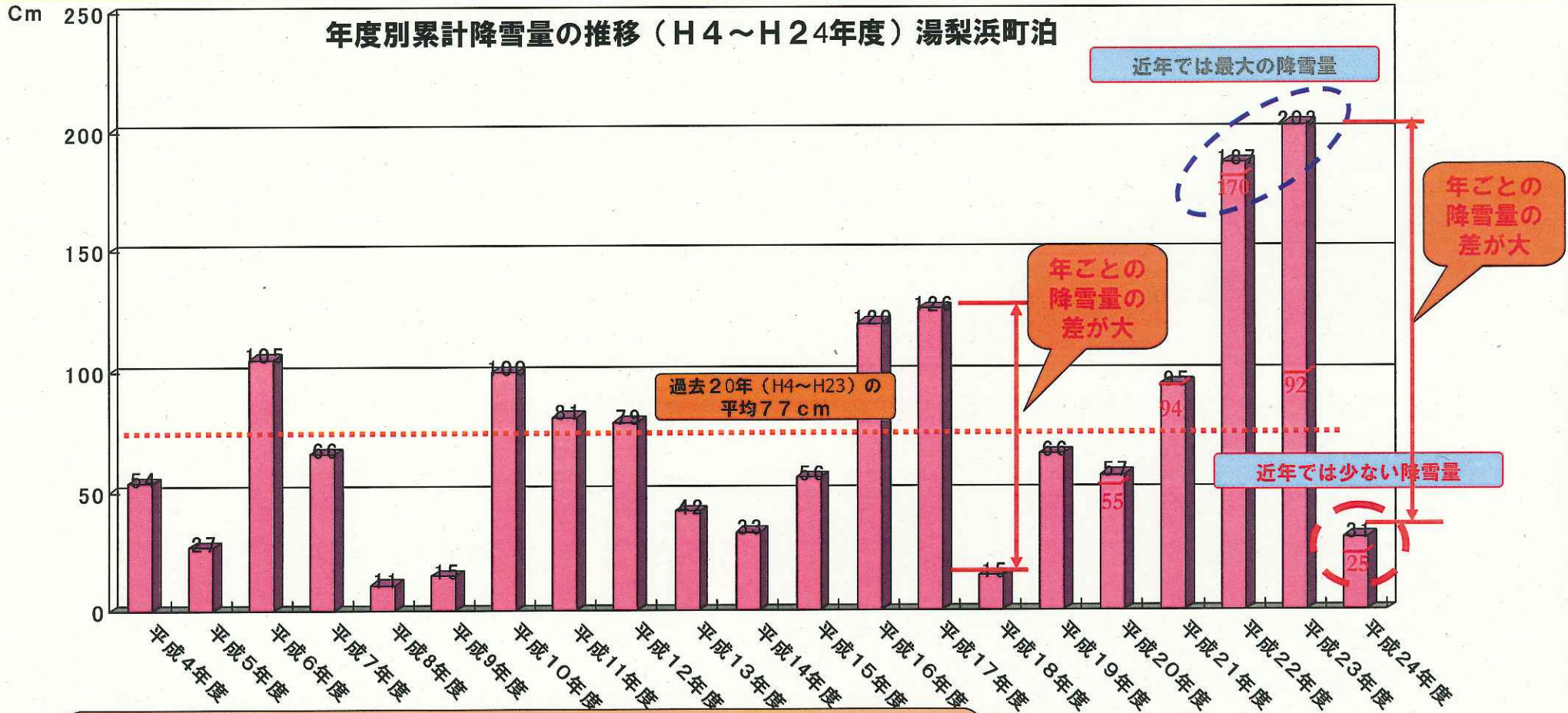
4. 検証及び今後の課題

平成24年度は、平成22年度の雪害を教訓として、雪害対策をさらに強化して取り組みました。
CCTVカメラの増設、スタック発生箇所の対策、冬用タイヤ・チェーン装着の向上や、雪害訓練の強化などに
取り組み、スタック等による交通支障は0(ゼロ)で、防災体制中(大雪注意報発表)は、交通事故や故障車による交
通規制等の発生もなく、冬季の円滑で安全な交通を確保することができました。

今後は、降雪状況から冬用タイヤ装着・指導については実施できなかったものもあり、平成22年度の雪害を教訓として、「豪雪時の対応五箇条」により、引き続き来シーズンに向け対策を実施していく予定です。

1. 管内の降雪状況の推移

1. 累計降雪量は、地区別(湯梨浜町泊)で過去20年間では5番目に少ない31cmを記録(過去20年間(H4~H23)平均77cm)
2. 管内の平均累計降雪量は約29cm、過去20年で5番目に少ない(H22最高190cm)
3. 管内の最大日降雪量10cm(平均約2cm/日)、最大積雪深10cm(1/27米子)、(2/8米子)



- 降る年と降らない年の降雪量の差が大きい
- 過去20年では5番目に少ない
- 平成23年度は平成22年を超え近年では最大の降雪量
- 平成22年度は1月末までが多い

※H24年度の降雪量について

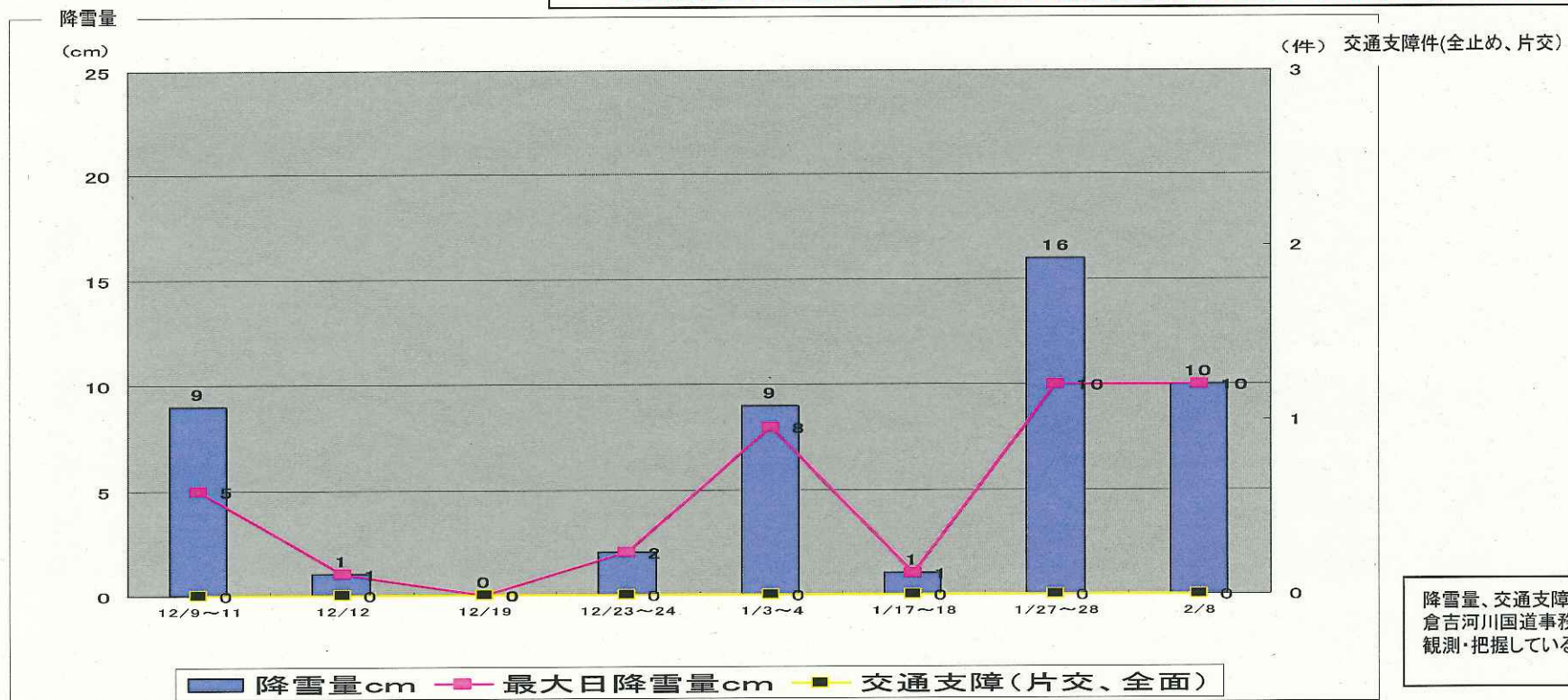
- ・H25.3.31現在の状況
- ・赤字は近年の1月末状況
- ・湯梨浜町泊の降雪量
- ・降雪量は倉吉河川国道事務所観測データ

2. 平成24年度の冬の体制・降雪状況

1. 大雪注意報8回、大雪警報0回、最大約60時間継続(12/9～11)
2. 防災体制は8回、約184時間(8日)
3. 寒波毎(大雪注意報)での累計降雪量は、1/27～1/28の最大16cm、平均は約2cm/回(8回)
4. 交通支障の発生は、0回 (スタック車の交通支障はなし)、交通規制等もなし(交通事故・故障車0回)

→降雪量は非常に少なく、時間降雪量5cm以上はなし、積雪深は、10cm(2回発生)
交通支障の発生は0(ゼロ)

参考:H22年末・年始は、最大積雪量89cm/22時間(米子測候所で記録)
(6時間で30cm積雪、3時間後から6時間継続して時間5～10cm降雪＝89cm積雪)



降雪量、交通支障は
倉吉河川国道事務所
観測・把握しているもの

月/日(体制時、及び大雪注意報時)

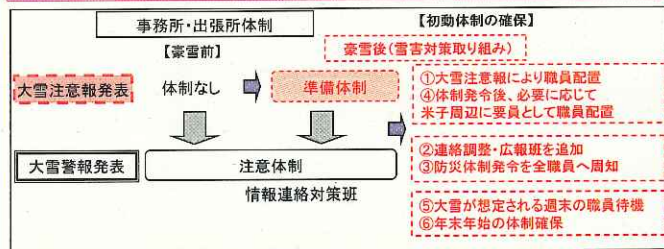
3. 具体的な雪害対策の取り組み（H23とH24の取り組み）

課題	項目(課題H24)	取り組み状況(H23)	H24取り組み
I 通行状況の迅速かつ的確な把握	CCTVカメラによる 情報収集		◆ CCTVカメラの増設(9基)
	職員による情報収集 住民・道路利用者からの情報収集	◆コンビニ、スーパー等との情報収集 ◆ツイッター、トリッターの活用 ◆ 除雪車へのGPS携帯搭載	
	保守業者からの情報収集		
II 通行止め措置等のあり方	通行止めの区間、時期	◆ 通行止めシミュレーションの作成・現地確認 関係機関等との連携	
	警察との連携	◆ ホットライン(国・県・町・警察)の構築	
III 関係機関との連携のあり方	県・関係自治体との連絡・連携	◆リエゾンの派遣、ホットラインの構築 ◆ 雪害訓練の実施(情報伝達訓練)	◆ 雪害訓練の実施 (通行止め措置の模擬訓練追加)
	警察との連携		
IV 道路利用者に対する情報提供のあり方	記者発表による情報提供	◆マスコミへの適切な情報提供 ◆コンビニ、スーパー等への情報発信 ◆ 滞留車両への情報提供(携帯サイトの緊急情報) ◆トリッターの活用	
V 緊急時における必要な体制の確保等	初動体制	◆休日の職員所在の登録 年未年始は近傍への帰省職員も含め登録 ◆初動体制の確保(準備体制) ◆建設業協会との雪害協定締結	
	除雪体制	◆ 除雪機械の増強(3台) ◆ 集中除雪の確保 ◆ GPS携帯搭載による位置確認 ◆迅速な作業開始、人員の確保	◆ 除雪機械の増強 (1台新設、1台更新)
VI その他	スタック防止 運搬排雪 通学路等の早期歩道除雪 冬用タイヤ装着の向上	◆滑り止め装置装着の啓発、スタック車両への通知文、冬用タイヤ装着チラシ配布等 ◆ 冬用タイヤ装着方法、装着・指導、装着調査 ◆ 登坂前のチェーン着脱場の看板設置	◆ 冬用タイヤ装着・指導(勉強会) ◆ 立ち往生の注意標識、携帯型情報板(試行)による情報提供 ◆ 雪みち安全マップの作成・配布

4. 平成24年度の雪害対策の取り組み（豪雪時の対応五箇条）

1. 初動体制の確保

人員の確保、迅速な参集・体制



H24実施(H23継続)

- 大雪注意報8回、大雪警報0回、最大約60時間継続
- 防災体制は8回、約184時間(約8日)
- 大雪が想定される週末の職員待機
年末年始の体制確保

2. 関係機関との連携

自治体・警察等との連携・情報共有



警察との通行止め措置の現地確認(雪害訓練)



警察、町、交通安全協会等との冬用タイヤ装着の啓発

H24実施(H23継続)

- 警察等との情報連絡調整会議(警察、高速隊、ネクスコ)
- 関係機関とのホットラインの確認(県、市町村、警察)
- 通行止め措置の現地確認(通行止め措置の訓練)
- 建設業協会と雪害協定締結(建設業協会)
- 冬用タイヤ装着・指導の連携(警察)

3. 迅速な情報収集

あらゆる方法による情報収集

CCTVカメラでの情報収集の外に現地調査(雪害訓練)
(通行止め区間の一般車両の状況把握)

お知らせください!!
道路に関する情報を
お知らせください!!
例えば、
・車が道路をふさいでいる、
・大雪降っている、
・雪で車が横転している、
・大きな雪下りがある、等
道路に関する情報をご連絡ください。

連絡先
国土交通省 倉吉河川国道事務所
TEL:0858-26-6221
FAX:0858-26-6299

コンビニ等への情報提供のお願いのチラシ

H24実施(H23継続)

- CCTVカメラ(99台)による情報収集(9台増設)
- コンビニ・スーパー等(39店舗)からの情報収集(1店増)
- ツイッター(「トリッター」)、トリピーメールからの情報収集

4. 迅速な情報提供

リアルタイムな情報発信

国道9号の緊急情報
時 分 秒 配布
国道9号(鳥取県)の緊急情報
00時00分00秒 - 00時00分00秒
交通事故
車線変更による追突
緊急事態
全道通行止め
詳細情報は、こちらをご利用ください

FAX送信表
国道9号に関する情報をお知らせします。
一発メール(トランプ2枚)が送付されています。
1時20分から一時通行止めを行い、降雪作業を行います。
なお、送付時としては山陽道をご利用下さい。

通学再開
中国道警備自動車隊(金子駐屯隊)
〒710-0100 鳥取県三好市三好 1-1-1
〒710-0100 鳥取県三好市三好 1-1-1

通行止めと同時に
滞留車両に配布、緊急情報の提供
コンビニ等に情報提供(雪害訓練)

H23.1の事例(H24年度はなし)

H24実施(H23継続)

- 道路情報板による表示
- コンビニ・スーパー等・マスコミ(41店舗等)へのFAX
- 緊急道路情報のFAX→トリピーメール(鳥取県)で情報提供
- 事務所HPモバイル(緊急情報)による提供(H24年度はなし)

5. 危機管理意識の徹底

日頃からの危機管理意識の徹底、集中除雪体制の確保、啓発活動



雪害訓練の実施



タイヤチェーン装着方法の指導(JAF、鳥取県トラック協会との連携)



冬用タイヤ装着・調査



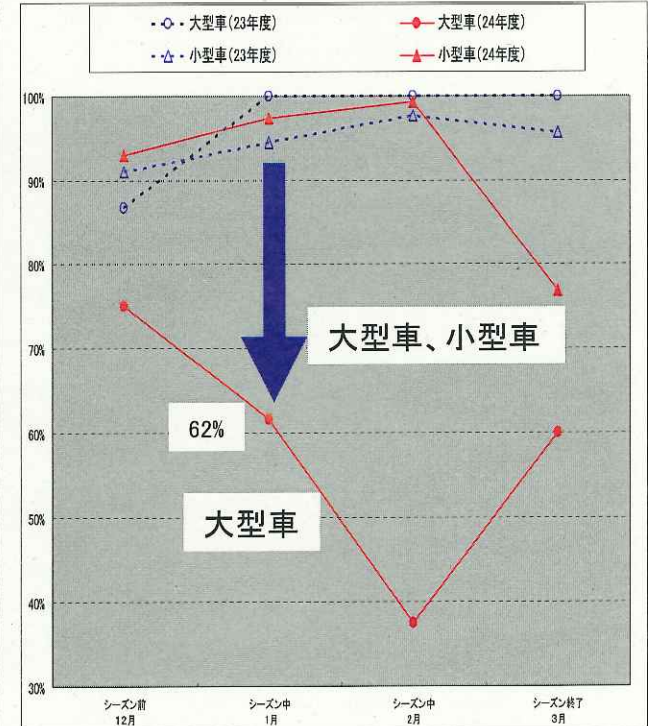
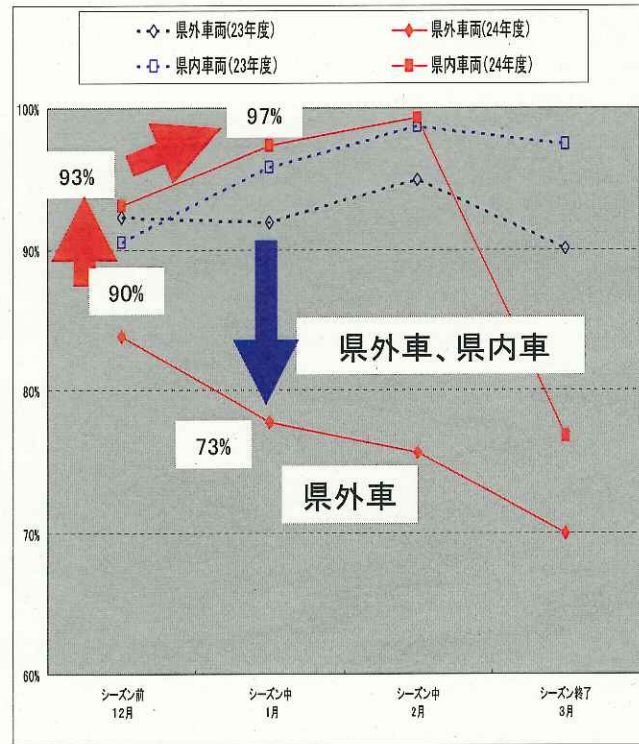
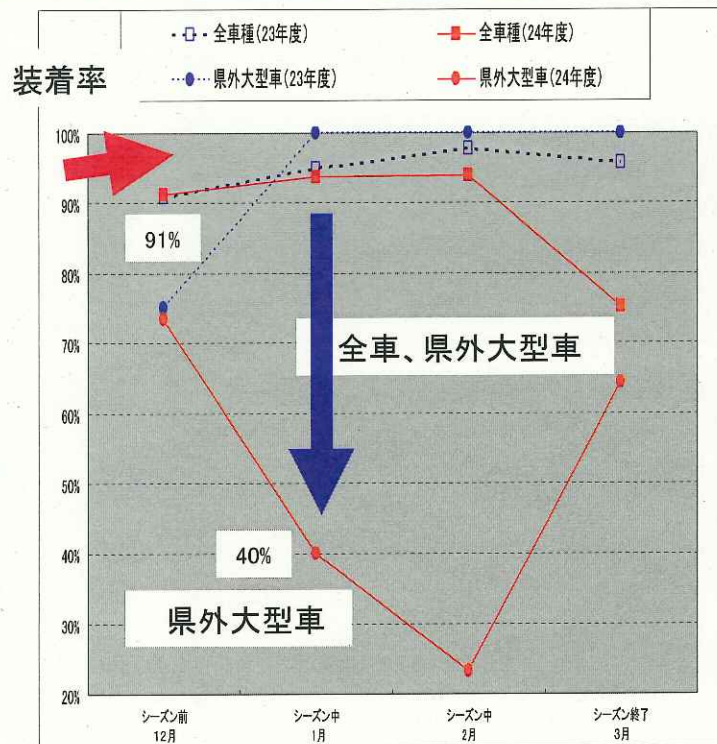
H24実施(H23継続)

- 雪害訓練の実施
- 自動車すべり止め装置の徹底の広域的啓発(依頼文発出)
- 冬用タイヤ・チェーン装着の啓発(雪みちマップ配布、冬用タイヤ装着調査)、装着・指導の啓発(H24年度はなし、勉強会を実施)
- 立ち往生車両の防止対策(立ち往生注意標識の設置、携帯型情報板の設置、すべり止め材等の設置)



5. 冬用タイヤ・タイヤチェーン装着の啓発活動

- ①冬用タイヤ・チェーン装着の啓発 ⇒ すべり止め装置の徹底(文書)、雪みちマップを作成し広域的なトラック協会等に配布
⇒ 警察、交通安全協会、町と連携して街頭でマップを配布
- ②タイヤチェーン装着方法の指導 ⇒ JAF、鳥取県トラック協会と連携し普通車・トラックのタイヤチェーンの装着方法の指導
- ③冬用タイヤ装着指導の勉強会 ⇒ 鳥取河川国道、保守業者等と共同で勉強会の実施
- ④冬用タイヤ装着率調査(12月～3月) ⇒ **早期に冬用タイヤ装着率が91%と高い、特に県内車は97%と高い**
⇒ **冬用タイヤ装着の啓発活動等により⇒特に県内車は向上(90%→93%に向上)**
⇒ **中・後半は、降雪状況により県外車・大型車・県外大型車の装着率は低下(73%、62%、40%に低下)**



6. 平成24年度の立ち往生車両の防止対策

立ち往生車両を防ぐため、「注意喚起の標識」「携帯型情報板」を設置

携帯型情報板による呼びかけ

冬用
タイヤ
装着を！
立ち往生
注意！
ここで
チェーン
装着を！

中山PA …… 中山PAの手前



中山登坂
立ち往生車両の重点対策箇所
(迂回路なし)

立往生に注意
4km先登坂 急勾配5%

なかやまPA

積雪時はチェーン装着を
この先450m

注意喚起標識の設置



富長登坂
285k700～286k200
最大勾配 2.66%

赤碓登坂
271k800～272k700
最大勾配 5.65%

